



ADVAN
firewood

ISLAND SERIES

取扱説明書
stove

ISLAND I	HI-ISL01
ISLAND II	HI-ISL02
ISLAND III	HI-ISL03

The ISLAND I is the smallest in the ISLAND collection. Clean lines and perfectly proportioned.

ISLAND II : Never has it been so simple yet so sophisticated

The ISLAND III is the largest model in the Island collection. Ideal for larger rooms and open plan areas this is a stove that can take half metre log lengths. A true wide-screen experience.

安全上のご注意 ～必ずお守り下さい～

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止する為、必ずお守りいただくことを次のように説明をしています。

表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で説明しています。



この表示の欄は、「死亡又は重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。



この表示の欄は、「死亡又は重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



この表示の欄は、「傷害を負う可能性又は物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。



■ 自分で改造・修理を行わないで下さい。

故障と思われる時は販売店にご相談ください。

■ 薪以外は使わないで下さい。

ガソリン・灯油・揮発性の高い油を絶対に使用しないで下さい。
火災の原因となります。

■ 燃焼中は室内の給気を確保してください。

室内の空気が不足し酸欠状態になったり煙が室内に逆流する恐れがあります。



警告

■ 熱に弱いものを近づけないで下さい。

燃えやすいもの（カーテン、紙、木など）を近づけると、使用時の高温で引火する恐れがあります。

■ スプレー缶は絶対に近づけないで下さい。

殺虫剤などのスプレー缶を暖炉前や周囲に絶対に放置しないで下さい。熱でスプレー缶が爆発し危険です。

■ 取り付け工事は専門家に必ずご依頼ください。

お客様ご自身による工事は危険です。事故の原因となることがあります。



注意

■ 子供だけで使わせないで下さい。

やけど・怪我の恐れがあります。

■ 直接長時間あたらないで下さい。

特にお子様やお年寄り、体の不自由な方にはまわりの方が注意してください。低温やけどを起こす場合があります。

■ 燃焼中や燃焼終了後しばらくは 本体、ドア、煙突には触れないで下さい。

高温になっておりますのでやけどの恐れがあります。
薪の補充などの際は熱に強い専用の皮手袋を必ずご使用ください。

■ ドアに無理な力を加えないで下さい。

ドアを閉めるときに薪などが飛び出している場合があり、ガラスが破損する恐れがありますので、十分確認しながら閉めてください。

注意

■ 薪の入れすぎに注意して下さい。

燃焼されすぎた状態が続くと、暖炉および煙突が破損する恐れがあります。破損をしなくても劣化が早まりますので燃焼空気の調整をして温度を 250℃前後に保ってください。

■ 定期的に本体及び煙突のメンテナンスを行ってください。

使用しているうちに本体及び煙突内にはススがたまり、それが多くなると引火して煙道火災などの事故が起こる可能性があります。少なくとも1年に1回はメンテナンスを行ってください。

■ 灰受けの灰はためすぎないで下さい。

灰受けに灰がたまりすぎると。燃焼空気の流れを妨げ、燃焼効率が悪くなる原因となります。

■ 外出時は暖炉本体の扉を閉めてください。

事故防止のため、就寝や外出の際は本体の全てのドアを閉め、可燃物が周囲に無いことを確認して下さい。

■ 地震・落雷後は必ず点検を行ってください。

地震や落雷にあった場合、破損や変形が生じている可能性があります。使用前に本体及び煙突の点検を行ってください。異常が見つかった場合は使用せず、販売店までご相談ください。

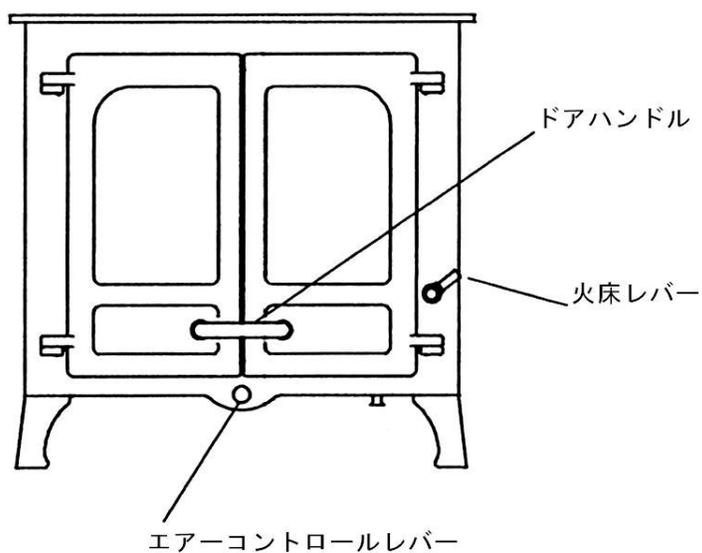
はじめに

この度は薪ストーブ「アイランド」をご購入いただき誠にありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みになり、十分理解した上でご使用ください。
また、ストーブに着火する前に、周囲に燃えやすいものは置いてないか等、安全確認を行ってください。

もくじ

	ページ
1 各部解説	2
2 燃料について	2
3 扉の操作	3
4 多機能火床	3
5 着火	4
6 空気の調節	4
7 灰の除去	5
8 薪の補充	5
9 灰の清掃	5
10 薪を燃やす時に特に気をつける点	6
11 メンテナンスとクリーニング	6
12 定期点検	7
13 長期間使用しない場合	8
14 トラブルシューティング	9

1 各部解説



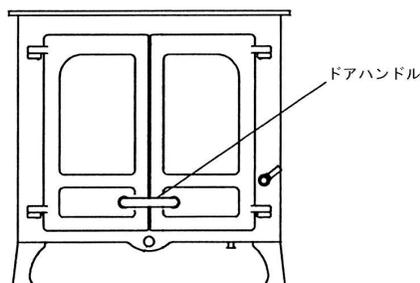
付属ハンドル

2 燃料について

よく乾燥した薪を使用して下さい。湿った薪を燃やすと、ストーブ内部、ガラス部分、煙道にタールが付着します。同様の理由で広葉樹（ナラ・クヌギ・サクラ）の方が針葉樹（マツ・スギ）より燃料に適しています。

湿った薪は燃焼効率が下がります。薪は切断して割った状態で1年以上、出来れば2年以上、通気性が良く乾燥した場所に保管して下さい。

3 扉の操作



ドアハンドルを時計回りに 90° 回すとドアは開きます。反時計回りで閉まります。

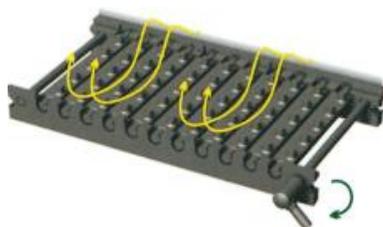
注意

アイランドのハンドルは素手で操作してもかまいませんが、火が大きな時にドアを開ける場合は、皮製のグローブを使って下さい。

操作する時は、ガラスに触れない様、十分に注意して操作を行ってください。

4 多機能火床

アイランドの多機能火床は、薪を効率よく燃やすように作られています。火床には 2 つのポジションがあります。



クローズポジション

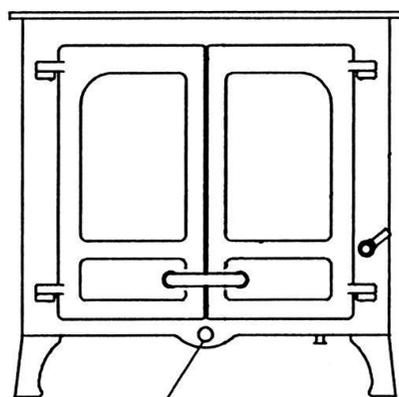


オープンポジション

火床バーが水平の状態がクローズポジションです。燃烧用の空気は火床の両端から上に送られます。このポジションでは灰が火床の上にたまり効率の良い燃烧へと繋がります。

火床のポジションを動かすには、木製ハンドルを使います。火床レバーにハンドルを差し 1 時の位置にするとオープンポジションになります。5 時の位置にするとクローズポジションです。上下に数回動かすと灰を下に落とせます。

5 着火



エアークントロールレバー

- 1 ストープの着火にはよく乾燥した細めの薪と、新聞紙、着火剤などを使用して下さい。火床をクローズポジションにしてください。
- 2 新聞紙や着火剤を火床にセットし、その上を細めの薪で覆って下さい。エアークントロールレバーを一杯に引いて着火します。
- 3 十分に火がついたら薪を増やしてドアを閉めて下さい。火力が上がるとエアークントロールシステム（ガラス面空気洗浄）が働き始めます。それを確認してからエアークントロールレバーで、火加減を調節します。

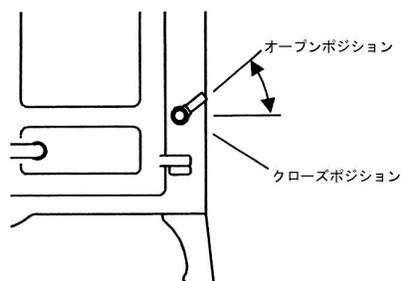
注意

初めてストーブを使用した時は耐熱塗料が焼きつく時の煙と匂いができます。これは正常な状態で1～2回の使用で無くなります。それまでは十分に換気をして下さい。

6 空気の調節

空気の調節はレバー1本で出来ます。エアークントロールレバーを手前に引くと空気量が増し、レバーを押すと燃焼スピードは遅くなります。このユニークな4段階燃焼システムは1次燃焼エア－と2次燃焼エア－、3次燃焼エア－、そしてバイパスエア－と1つのレバーで最適にコントロール出来ます。今までの様に多くのレバー調節は必要ありません。

7 灰の除去



多機能火床の調節

薪を燃やすと灰が溜まります。火床後部の隙間を覆うようになったら灰を取り除いて下さい。ドア閉めた状態で火床レバーにハンドルを差し上下に数回動かして下さい。動かし過ぎると燃えていない薪まで灰受けに落ちてしまうので、注意して下さい。

灰の除去が終わったら火床のレバーをクローズポジションに戻します。(1時の位置でオープンポジション、5時の位置でクローズポジション)

8 薪の補充

炉内には薪を充分に入れなければなりません。炉床のバーを超えない様にして下さい。薪はクロスする様に置いて下さい。フロントバーを越えると薪が崩れて、ガラスが割れる可能性があります。ドアを開けても薪が倒れてこない高さまでとして下さい。

9 灰の清掃

灰は灰受けが一杯になる前に捨てて下さい。

灰受けは付属のハンドルを使って引出す事が出来ます。

警告

灰を捨てる際は十分に灰が冷えた時に行ってください。また、灰受けから出した灰はしばらく、何日か不燃性の容器(金バケツ等)に入れておいて下さい。

1 0 薪を燃やす時、特に気をつける点

火床は通常クローズポジションで使用して下さい。

火床の側面や後方からの空気の流れを妨げる位、灰が溜まれば取除いた方がよいでしょう。灰を全て取り除かず 1 cm程度溜めた方がより効果的に薪が燃えます。

着火する時はよく乾燥した細めの薪と新聞紙又は、着火剤を使用することで、より確実に着火させることができます。

1 1 メンテナンスとクリーニング

ストーブ本体のクリーニングとメンテナンス

掃除はストーブが冷えている時に湿った布を使って拭いて下さい。

再塗装をする時は高耐熱塗料を使用して下さい。

ガラスの清掃

扉に使われているガラスは特殊な耐熱ガラスです。

ガラスの清掃をする時には、まず本体が冷えているかを確認して下さい。

湿った布で汚れを拭き、それから乾いた布で仕上げして下さい。頑固な汚れが残ったときは、ストーブ用ガラスクリーナーを御使用下さい。

研磨剤の入ったクリーナーや、硬いスポンジは絶対使用しないで下さい。小さな傷が入りガラスの強度が低下する恐れがあります。

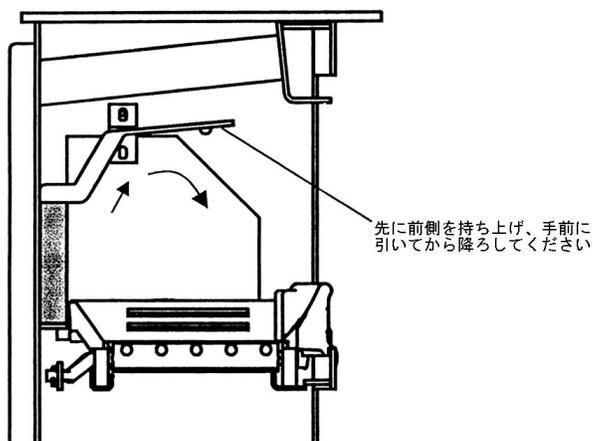
1 2 定期点検

良好な状態でご使用頂く為に、1年に1度は定期点検をお奨めします。
内部の清掃、ガスケットなどの消耗品を交換します。(有償)

ドアのガスケット

ストーブを正常にご使用頂くには、ガスケットの状態が大切です。
ガスケットを点検し、古くなり固まっていれば交換して下さい。

バッフルボードと煙道の掃除



バッフルボードの外し方

バッフルボードと煙道は常にきれいな状態にしてください。
ススや灰がバッフルボードの上にススや灰が溜まっていないか、目で見て確認して下さい。もし溜まっていたら、掃除して下さい。
バッフルボードと煙道を掃除する時は、まずストーブが冷えているか確認します。
ススが手に付かない様に必ず軍手等を使用して下さい。
バッフルボードを外すには、後側を少し上に持ち上げ、前に引きながらサポート部から抜き、手前に回しながら外します。

煙突掃除

煙突は少なくとも1年に1回は掃除して下さい。

通常、煙突のトップからストーブ本体まできれいに掃除出来る様になっています。

まず、燃焼室（釜）手前のバー、サイドプレート両側、バッフルボードを取り外します。

そして煙突内部を掃除します。水平部分のススが取除かれているか確認して下さい。

煙突のトップからストーブ本体まで掃除出来ない様な煙突形状の場合は掃除口を設けるなどして下さい。

ストーブの掃除が終わったら、バッフルボード、サイドプレート（両側）、手前のバーを順に取付けて、もとに戻します。

1 3 長期間使用しない場合

長期間火をつけない時（夏などのシーズンオフ）は、結露によるサビを防ぐ為に、エアーコントロールレバーを最大に開き（手前に引く）空気の流れを確保してください。

煙突を拭いて掃除をしておくのもよい事です。

火床にある灰はきれいに取り除いてください。（湿気を含みサビの原因となります）

1 4 トラブルシューティング

火がうまく点かない。

- a ストープの後方にある吸気口がふさがれていませんか？。
- b 煙突や煙道が汚れていませんか？
- c 湿った薪を使用していませんか？
- d 室内に十分な空気が入る様になっていますか？
- e ストープがある部屋の換気扇がまわっていますか？
- f 煙突に十分な吸引力がありますか？

ガラスが汚れる

- a エアウォッシュシステムは高温になった空気を利用して、ガラスの汚れを除去します。その為には、着火後、火床が暖まる前に、エアコントロールを閉じないで下さい。これは薪を補充する時も同様です。
- b 薪を補充する時は、出来るだけ後方に、フロントバーから離して置いて下さい。又、薪を入れ過ぎないように注意して下さい
- c 湿った薪がフロントバーから突き出ていると、ガラスが割れる原因になります。

アイランドシリーズにはバイパスエアシステムの機能があり、たとえエアコントロールが閉められていても、バイパスエアによって少量のエアがストーブに入り、とろ火でも排気をクリーンに保つことが可能です。

炎が強すぎる時

- a ストープのドアがしっかりと閉まっていますか。
- b エアコントロールレバーは押されていますか。
- c 適した燃料を使用していますか。
- d ドアシールの損傷はありませんか。

排煙の不良

警告

正しく排煙を行うには、正しい取付けが必要です。外部に煙の放出が続く場合は下記の通りに処置して下さい。

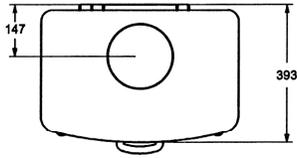
- a ドアや窓を開けて、部屋の換気をして下さい。
- b 扉をきっちり閉めて給気を閉じてください。
- c 煙道が詰まっていないかチェックして下さい。掃除は必ずして下さい。
- d 煙の原因が判明するまでは、火を点けない様にして専門家の意見を聞いて下さい。

最も多い原因は、煙道又は煙突トップの詰まりです。常に掃除して安全にお使い下さい。

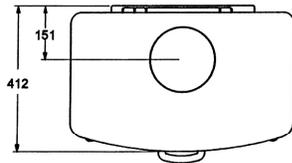
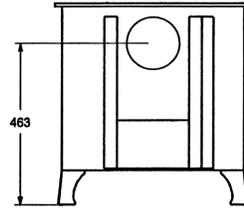
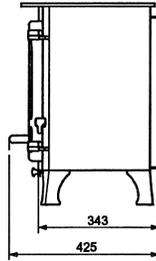
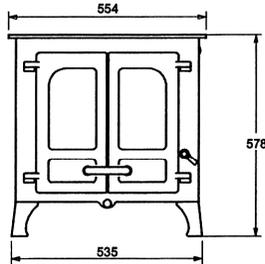
煙道火災

煙突の掃除は徹底的、定期的に行って下さい。もし煙突内部のタールなどに着火した場合、ストーブのドアをしっかり閉めて、エアークントロールレバーを完全に押し込んで下さい。煙突掃除により煙突を常にきれいに保つよう心がけてください。

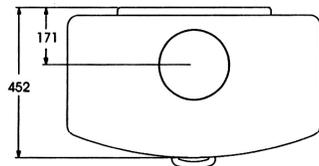
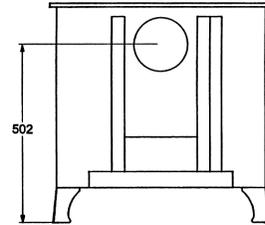
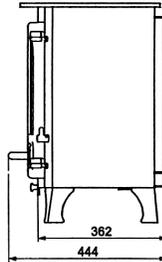
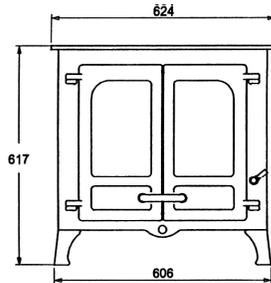
万が一、煙道火災が起きた場合は速やかに消防署へ連絡してください。
煙道火災のあとは専門家にチェックしてもらって下さい。



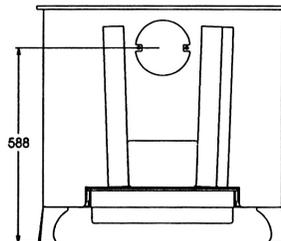
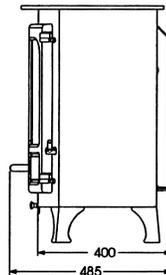
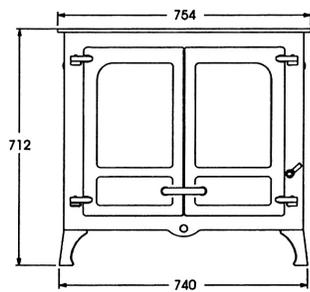
ISLAND^I



ISLAND^{II}



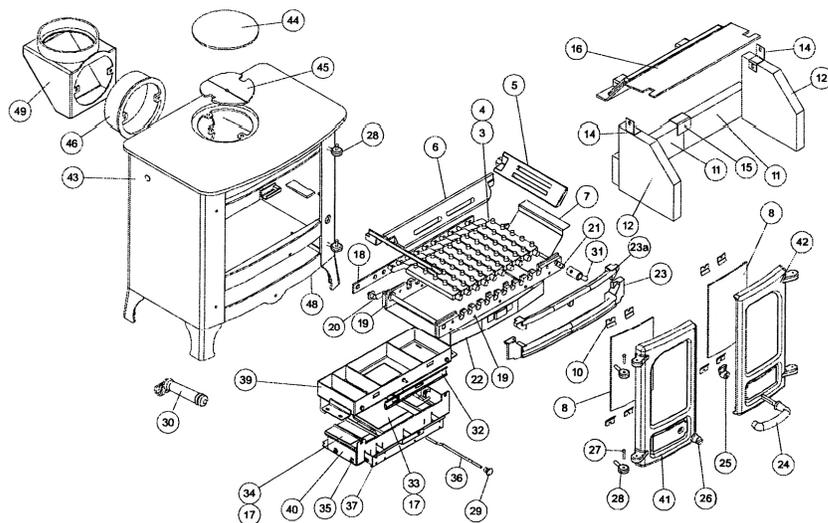
ISLAND^{III}



分解図

ISLAND

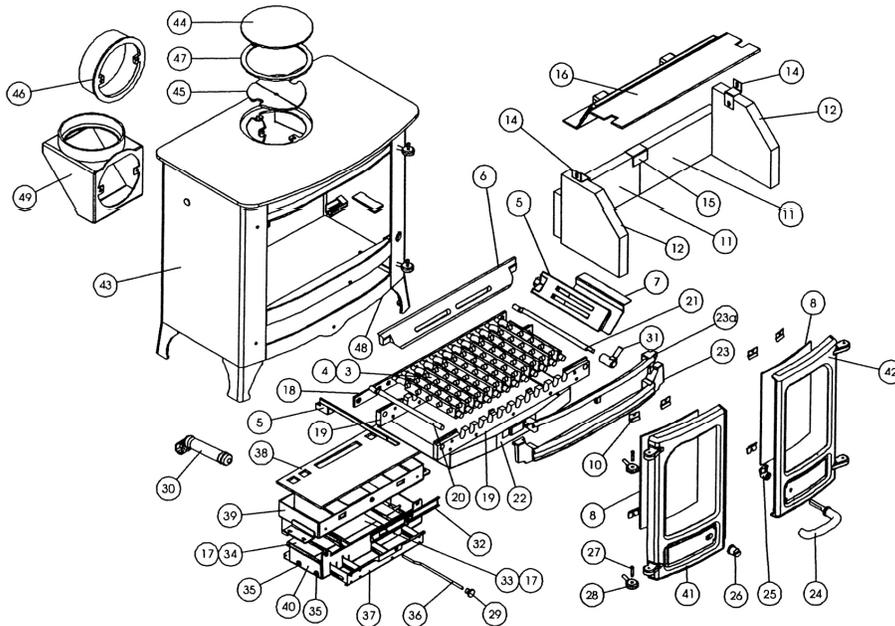
Parts List



3 火床バー	2 4 ドアハンドル	4 4 ブランキングプレート
5 燃烧室横板	2 5 ドアキャッチ	4 5 クランピングプレート
6 燃烧室後部板	2 6 ドアノブ	4 6 レジューサー
7 灰除け板	2 7 ヒンジピン	4 7 煙道スペースリング
8 ガラス	2 8 ヒンジポスト	4 8 シリアルナンバーラベル
9 ガラスシェル	2 9 エアコントロールノブ	4 9 後方排気アダプター
1 0 ガラス止め金具	3 0 取外しハンドル	
1 1 後部耐火レンガ	3 1 リダーノブ	
1 2 横部耐火レンガ	3 2 エアバイパスサイド	
1 3 レンガ固定金具	3 3 一次空気取入板	
1 4 止金具	3 4 二次空気取入板	
1 5 接続金具	3 5 フラップマウント	
1 6 バッフルボード	3 6 空気調節ロッド	
1 7 空気取入口パッド	3 7 アクチエーターアッセンブリー	
1 8 可動バー	3 8 アッパークアトロボックスガasket	
1 9 キャリアバー	3 9 アッパークアトロボックス	
2 0 アイドラーロッド	4 0 ロアークアトロボックス	
2 1 リダーロッド	4 1 ドア 左	
2 2 灰受け皿	4 2 ドア 右	
2 3 フロントバー	4 3 ストープ本体	

ISLAND

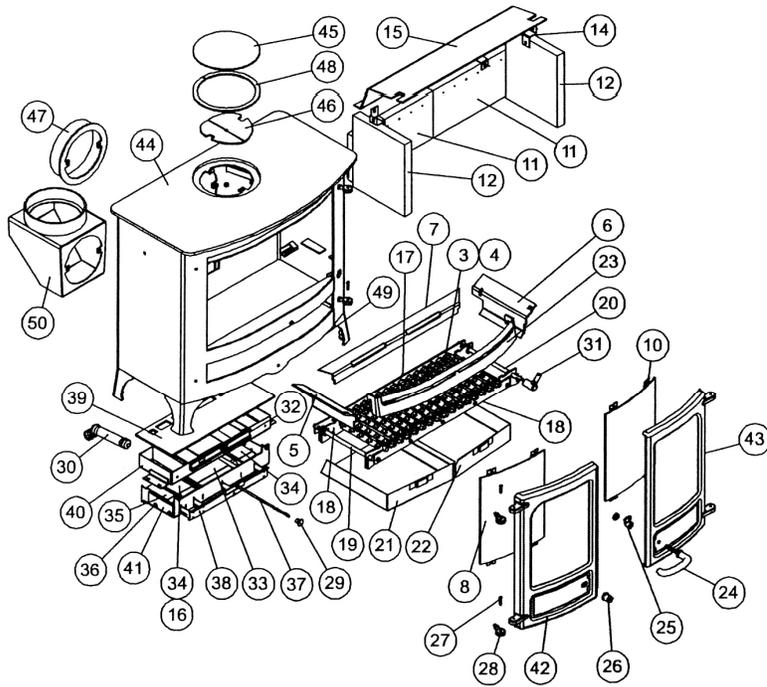
Parts List



3 火床バー	2 4 ドアハンドル	4 4 ブランキングプレート
5 燃焼室横板	2 5 ドアキャッチ	4 5 クランピングプレート
6 燃焼室後部板	2 6 ドアノブ	4 6 レジュサー
7 灰除け板	2 7 ヒンジピン	4 7 煙道スペースリング
8 ガラス	2 8 ヒンジポスト	4 8 シリアルナンバーラベル
9 ガラスシェル	2 9 エアークontrolノブ	4 9 後方排気アダプター
10 ガラス止め金具	3 0 取外しハンドル	
11 後部耐火レンガ	3 1 リダーノブ	
12 横部耐火レンガ	3 2 エアバイパスサイド	
13 レンガ固定金具	3 3 一次空気取入板	
14 止金具	3 4 二次空気取入板	
15 接続金具	3 5 フラップマウント	
16 バッフルボード	3 6 空気調節ロッド	
17 空気取入口パッド	3 7 アクチエーターアッセンブリー	
18 可動バー	3 8 アッパークアトロボックスガスケット	
19 キャリアバー	3 9 アッパークアトロボックス	
20 アイドラーロッド	4 0 ロアークアトロボックス	
21 リダーロッド	4 1 ドア 左	
22 灰受け皿	4 2 ドア 右	
23 フロントバー	4 3 ストープ本体	

ISLAND

Parts List



3 火床バー	24 ドアハンドル	44 ストープ本体
5 燃焼室横板	25 ドアキャッチ	45 ブランキングプレート
6 燃焼室後部板	26 ドアノブ	46 クランピングプレート
7 灰除け板	27 ヒンジピン	47 レジューサー
8 ガラス	28 ヒンジポスト	48 煙道スペースリング
9 ガラスシェル	29 エアコントロールノブ	49 シリアルナンバー
10 ガラス止め金具	30 取外しハンドル	50 後方排気アダプター
11 後部耐火レンガ	31 リダーノブ	
12 横部耐火レンガ	32 エアバイパスサイド	
13 レンガ固定金具	33 一次空気取入板	
14 止金具	34 二次空気取入板	
15 接続金具	35 エアバイパスフラップ	
16 バッフルボード	36 フラップマウント	
17 空気取入口パッド	37 空気調節ロッド	
18 可動バー	38 アクチエーターアッセンブリー	
19 キャリアバー	39 アッパー クアトロボックスガスケット	
20 アイドラーロッド	40 アッパー クロスボックス	
21 リダーロッド	41 ロアー クアトロボックス	
22 灰受け皿	42 ドア 左	
23 フロントバー	43 ドア 右	